



市長とランチミーティング 28

やいまぬ(八重山の)みーどうん(女)とびぎどうん(男)で島興し

第28回「市長とランチミーティング」は10月29日(月)に

「石垣市女性団体ネットワーク会議」の皆さんと行われました。

中山市長

皆さんこんにちは。今回は「市長とランチミーティング」に応募していただき、ありがとうございます。先般、地域活性化の八重山島興し事業のご報告を頂いた時に、皆さんからまだまだいろんな話がしたいというお話がありましたので、今日は大変楽しみにしています。

今日は色んなご意見がいただけたらなと思います。3月7日に新空港が開港しますが、それに向けて様々な業界での取り組みがあります。今日皆さんからいただく意見を参考に、次の新しいアイデアが事業展開に繋がればと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

仲吉 八重会長

こんにちは。石垣市女性団体ネットワーク会員として力を合わせて島興しというこの活性化に関わる事業をどうしてもしたいという思いから、前年度は島興しファッションショーを行いました。今年度は実現性のある事業の一つでも進めたいという思いで農林水産業をされている2名の方と服飾デザイナー1名、行政側から1名の方々にパネルを引き受けていただき市



民会館で「新空港開港まで152日」やいまぬ(八重山の)みーどうん(女)とびぎどうん(男)で島興しを開催し、島興しに関する様々な提言をしていただきました。市民男女150名余りの方に集まっていたいただき、大変よいシンポジウムになりました。

今日はその5名のパネラーが提言してくださった事が実現できるように今日お集まりいただいている行政の方々に指導をしてい

ただいて、一つでも実現に近づけられるような機会にできればと思います。今日はパネラーの皆さんがどのような考えをお持ちなのか聞いていただきたいと思っています。

池田 元氏

私からの島興しへの提言は、海人朝市を土曜日と日曜日の週2回登野城漁港のマンタ公園の近くで行いたいということです。この朝市でシャコガイ、ヤイトハタ、モズク、アオサなど石垣島近海でとれるものを味わっていただきたいと思っています。

来月の17日は豊かな海づくり大会で天皇皇后両陛下がお見えになります。そこで両陛下からヤイトハタ、タマン、タカセガイあたりを受け取り、放流のお手伝いを八重山漁協の青年部が行う予定です。これによって八重山の海産物を全国にアピールすることができそうです。石垣市では、年に1度だけ八重山漁協の青年たちがおさかなまつりを開催していますが、年に一回の開催では八重山の海産物をアピールしていくには弱いので、できれば毎週土曜、日曜に海人朝市を開催して観光客などにアピールしていきたいと考えています。

新石垣空港が開港するにあたり、石垣島近海の海産物をもっと観光客や地元の方々にも買ってもらいたくために海人朝市を提言しました。

池村 多喜美氏

私は八重山地区農村漁村女性組織協会の代表として発表させていただきました。私が今取り組んでいることは、農家の悩みである作物の廃棄量を少なくするということです。ほとんどの農家さんは作物の廃棄について困っています。私もイモの栽培をしていますが、やはり使いきれないイモの廃棄に頭を悩ませていました。





そんな時に八重山農林水産整備課の担当者に相談したところ加工技術を持つている原田さんを紹介していただき規格外のイモも使える生スイートポテト「畑人（ハルサー）の宝石」を完成させることができました。

この商品をとおして私の周りの地域、足元から元気になつて、そして石垣市全体が元気になつていくように、今後も取り組んでいきたいと考えています。

私が新石垣空港開港後に期待していることは機内食や機内販売で八重山の商品を取り入れて欲しいということです。そして、1農家1ブランドの商品が並ぶショップが実現できればいいなと思います。農家の代表として提言いたします。

池城 安武氏

私は昨年、服飾の会社を立ち上げてデザインからプリント、縫製まで自分で行っています。ネット販売などで県外や遠くはフランスなどから注文が入っています。

私はどうしたら服飾をとおして石垣島の島興しができるか考えたととき、石垣には私のように服飾の作り手がたくさんいるので、八重山独自のかりゆしウェアブランドを作ることができないのではないかと考えました。県の縫製工業組合に問い合わせたところ年間30万着も売り上げているそ

うです。ミンサーウェアも素晴らしいけれども、さらに八重山独自のかりゆしウェアを開発すれば、八重山の消費者も既存のかりゆしウェアよりも八重山独自のかりゆしウェアを選択してくれるのではないかと思います。「八重山独自のかりゆしブランド」構築を提言させていただきました。



商工振興課長 大嵩久美子

私は行政の立場から意見を述べさせていただきました。新空港開港を前に行政の立場から商工振興課としてサポートしたいこと、何をすべきかということをお話させていただきました。

新空港が開港しても何もアクションを起こさなければ今と何も変

わりません。今回、発表されたみなさんそれぞれ素晴らしい考えをお持ちですが、最終的には農林水産業、観光業、商工業、そして行政が連携して一貫性のある方針で実行力のある産業連携ができれば魅力あるブランドづくりに寄与できるのではないかと思います。

高嶺 幸子氏

大変実り多いシンポジウムでした。パネラーの皆さんがしっかりとしたビジョンをお持ちで、池田さんは朝市の実現、池村さんは1農家1ブランド。

池村さんについては私たちの知らない農家の実情を話していただきました。私たちはまったくそういった状況を知らなかったので、廃棄される作物を活かしたいという池村さんの想いは素晴らしいと思いました。

池城さんは昨年のファッションショーから一緒にさせていただきましたが、池城さんの若い感性、若い視点から島のこの業界のことを考えてることが、同じ業界にいる私にはとても嬉しいことでした。私はどちらかというとミンサーウェアにこだわった仕事をしているのですが、新しい石垣島の染物があってもいいのではないかと思います。みなさん素晴らしい意見をお持ちですが、まずは行動しなければ何も始まらないので是非、中山市長はじめ行

政の皆さんにも協力して頂ければと思います。

中山市長

みなさん今日は貴重なご意見、ご提言ありがとうございました。皆さんのお話を聞いて、構想がしっかりとできていると感じましたので行政としても実現に向けて取り組んでいきたいと思っています。今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。皆さんの話を聞いて、構想がどんどん出てきそうな気がしました。観光と経済の振興をしつかり行い、地域所得が向上することが新空港開港後の一つの目標なので、ぜひこれからも一緒に取り組んでいきましょう。

